

おかざき木づかい塾 2024 参加者募集要項

■趣旨

岡崎市は歴史都市として街中には歴史・文化遺産が遺されています。その背景には優れた立地環境が備わり、昔より、豊かな森林資源と木なりわいが育まれ、川上の森林、川中の木なりわい、川下の木のライフスタイルまでが繋がり、長い歴史を経て蓄積されてきていますが、残念なことに、こうした豊かなお宝＝地域資源（ヒト・モノ・コト）は、現代社会の中で埋没し、見えにくくなっています。

しかし、2010 年の木材利用促進法施行によって流れが変わり、2021 年の改正によって、その対象が民間施設まで拡大され、全国的に木材利用が促進されて地域を活性化する事例が増えてきました。そこで、本市においても木材利用を通じて、埋没しつつあるこの豊かなお宝の再生を目指しています。

木材利用の促進には、多くの人々が利用する公共施設や民間施設を木造建築で整備することで、木に関わる川上から川下の方々や生活者の方々にも、木材利用の現状と課題を理解いただき、木の利活用を進めて日常化していくことが重要になります。

そのために「おかざき木づかい塾」では、木造建築の担い手となる設計士をはじめ、学んでいる学生、さらには興味のある市民の皆様など「木づかい」に関わり、作り手や使い手を養成して行きます。

今年度は、本市の森林・林業・製材の状況や地域材利用の先進事例の現場を体験し、岡崎市産の木材の特性を活かした木造建築物や木製家具など工法や構造の講義を通じて、自らの考えを実現させるワークショップ（WS）を実施して、次世代の担い手を育成する機会としています。

■開催内容

○期 間 ： 9 月から 12 月まで 3 週間毎で全 5 回開催

○会 場 ： 各回会場設定

○募集定員：各回 30 名程度

○募集対象：設計事務所設計士・学生・行政・民間・木材関係者等

○参加費 ： 一人 15,000 円（3,000 円/回・昼食弁当付（第 1 回、第 2 回、第 4 回））

※各回だけの参加も可能ですが、第 4 回と第 5 回は両方参加が必須になります。

○主 催 ： 岡崎市・株式会社もりまち

○協 力 ： 公益社団法人 日本建築家協会 東海支部愛知地域会、公益社団法人 愛知建築士会岡崎支部、西三河林材団体連合会

※ CPD 付与予定（日単位）

■申込方法

以下の URL 又は、右の二次元コードからお申込みください。



○申込先 : <https://forms.gle/shUYhpU3qbrScCPY8>

○申込期限：令和 6 年 8 月 30 日（金曜日）

※応募多数の場合は、先着順とします。

※参加通知は本文に記載されたメールアドレスに送信させていただきます。

※上記 URL 又は二次元コードからお申込みできない場合は、以下のメールアドレスに
件名、本文に必要事項を記入し送信するか、以下の連絡先にご連絡ください。

○メールアドレス：info@morimachi-okazaki.jp

○連絡先 : 0564-82-3215（事務局もりまち）

○件名 : おかざき木づかい塾参加申込

○必要事項 : ①メールアドレス

②お名前

③会社名

④所属部署（任意）

⑤会社ご住所

⑥当日連絡可能なお電話番号

⑦講座参加希望回

⑧交流会参加希望回

⑨CPD 付与希望の有無。有る場合は以下を記入

・所属

・所属会員番号

・CPD 番号

⑩木造建築設計経験の有無について、以下のいずれかを記入

・現在、実務としておこなっている、経験あり、なし、その他

○ 株式会社 もりまち

岡崎市内の森林を活用して、林業 6 次産業化、中山間地域の活性化を目指し、森林・林業に関係する事業者で出資した地域商社。

出資者は、岡崎市、特定非営利活動法人アースワーカーエナジー、株式会社 トビムシ、岡崎森林組合、一般社団法人 奏林舎。

■プログラム

【第1回】 「岡崎市産材を知り、活用を理解する」

前年に開催した「おかざき木づかい塾 2023」の内容を振り返るとともに、岡崎市産材の状況を再度確認するために森林・林業・製材の現場見学を体験型で実施する。

日時：9月19日（木）（9時30分～18時）9時30分：岡崎市役所集合・18時：岡崎市役所解散

会場：NPO アースワーカーエナジー里山拠点、森林、(株)しらい（製材所）

岡崎市役所西庁舎正面玄関ロータリー集合 9時30分 バス移動（約1時間）

- 1) ガイダンス：木づかい塾が目指すこと、前年度の振り返り 杉本洋文氏・事務局
60分（10時30分～11時30分）
- 2) 昼食：60分（11時30分～12時30分）
- 3) 現場見学：森林・林業の現場見学 講師：唐澤晋平氏（(一社)奏林舎 代表理事）
165分（12時30分～15時15分。徒歩移動含む）
伐倒見学と森林プロット測量体験（樹種、胸高直径、本数等）
- 4) 休憩：15分（15時15分～15時30分）
- 5) バス移動：30分（15時30分～16時00分）(株)しらい
- 6) 現場見学：製材所の現場見学 講師：白井仁士氏（(株)しらい） 60分（16時00分～17時00分）
- 7) バス移動：18時00分 市役所解散
- 8) 交流会：18時30分～ 自由参加・会費徴収（3,500円）・会場 葵丘

【第2回】 「木材利用の先進地視察」

木材利用の先進事例を把握するために、岐阜県立森林文化アカデミーを視察する。

日時：10月9日（水）（9時30分～18時30分）9時30分：岡崎市役所集合・18時30分：岡崎市役所解散

会場：岐阜県立森林文化アカデミー

岡崎市役所西庁舎正面玄関ロータリー集合 9時30分 バス移動（約2時間）

- 1) 昼食：60分（11時30分～12時30分）
- 2) バス移動：30分（12時30分～13時00分）岐阜県立森林文化アカデミー
- 3) 講話：「大学施設の木材活用の取り組みと木造建築の性能について」講師：辻充孝氏（岐阜県立森林文化アカデミー教授） 60分（13時00分～14時00分）
- 4) 現場見学：岐阜県立森林文化アカデミー内施設の現場見学 150分（14時00分～16時30分。休憩含む）
- 5) バス移動：18時30分 市役所解散
- 6) 交流会：19時00分～ 自由参加・会費徴収（3,500円）・会場 葵丘

【第3回】 「岡崎市産材を活用した工法、構造の解説」

前年度に実施した岡崎市産材の強度調査結果や木造建築の工法、構造を学び、岡崎の木の活かし方を考える。

日時：11月1日（金）（13時00分～18時00分）13時00分：岡崎市竜美丘会館集

合・18時00分：岡崎市竜美丘会館解散

会場：岡崎市竜美丘会館 301 号室

- 1) 講話1：「岡崎市産材の木材性能について」講師：山崎真理子氏（名古屋大学教授） 90分（13時00分～14時30分）
- 2) 講話2：「木造建築と架構デザインについて」稲山正弘氏 90分（14時30分～16時00分）
- 3) 休憩：15分（16時00分～16時15分）
- 4) WS：「岡崎の木を活かした架構システムを計画する」75分（16時15分～17時30分）
グループ毎にWS形式で進める。
- 5) 発表と講評：30分（17時30分～18時00分）
- 6) 交流会：18時30分～ 自由参加・会費徴収（3,500円）・会場 ローレライ（竜美丘会館内）

【第4回】 「岡崎市産材を活用した仮設住宅の開発①」

岡崎市産材を使った仮設建築を考える。

日時：11月20日（水）（9時30分～17時00分）9時30分：岡崎市役所集合・17時

00分：岡崎市役所解散

会場：岡崎市役所福祉会館 201 会議室

- 1) 講話1：「課題：岡崎の木を使った仮設建築」講師：杉本洋文氏 60分（9時30分～10時30分）
作品はグループ毎に作成し、第5回で発表する。
- 2) WS1：「岡崎の木をつかった仮設建築の開発」 90分（10時30分～12時00分）
- 3) 昼食：60分（12時00分～13時00分）
- 4) WS2：「岡崎の木をつかった仮設建築の開発」 180分（13時00分～16時00分。休憩含む）
- 5) 発表と助言：60分（16時00分～17時00分）
第5回の発表に向け、グループ毎にアイデアを発表し、コーディネーターから助言を行う。
- 6) 交流会：17時30分～ 自由参加・会費徴収（3,500円）・会場 葵丘

【第5回】 「岡崎市産材を活用した仮設住宅の開発②」

作品の発表と講評により、更なる木づかいに繋げる。

日時：12月13日（金）（13時00分～17時00分）13時00分：岡崎市役所集合・17時00分：岡崎市役所解散

会場：岡崎市役所福社会館 201 会議室

1) 展示：各グループの課題発表作品を展示 30分（13時00分～13時30分）

2) 発表と講評：180分（13時30分～16時30分。休憩含む）

グループ毎にパネル・模型（任意）を使った発表10分・質問10分のプレゼンテーションを行い、審査員が講評する。

審査員

杉本洋文 氏（（株）計画・環境建築代表取締役会長、元東海大学教授、ウッドデザイン研究所代表）

小原淳 氏（NPO 法人アースワーカーエナジー理事長、小原木材(株)代表取締役社長）

八田欣也 氏（岡崎製材(株)代表取締役）

山崎真理子 氏（名古屋大学教授）

長野麻子 氏（（株）モリアゲ代表、元林野庁木材利用課長、岡崎市森林活性化アドバイザー）

3) 表彰式：15分（16時30分～16時45分）

入賞作品の表彰を行う。

4) 修了式：15分（16時45分～17時00分）

5) 交流会：17時30分～ 自由参加・会費徴収（3,500円）・会場 葵丘

■講師紹介 （随時更新します）

●各回のコーディネーター 杉本洋文 氏

（（株）計画・環境建築代表取締役会長、元東海大学教授、ウッドデザイン研究所代表）



プロフィール：

1972 年東海大学工学部工学研究科修了、現会社に入社、社長を経て、2004 年東海大学教授に就任、2019 年退職、現在、国交省 2011 年より「官庁施設における木造耐火建築物の整備手法の検討会」「国土交通省大学校講師」2017 年より「官庁施設における多様な木造建築の整備手法に関する検討会」、林野庁 2013 年より「森林研修所講師」、奈良県では 2005～2010 年平城遷都 1300 年記念事業会場プロデューサー、2015 年から「奈良の大学講師」2018 年から「奈良の木販売促進アドバイザー」に就任している。

木造を中心に建築作品を発表、全国各地で地域資源を活かしたまちづくり、NPO アーバンデザイン研究体理事長として都市研究に取り組み、市町村の都市計画審議会委員の業績多数。

受賞歴

2019 年都市計画法・建築基準法 100 年記念国土交通大臣表彰を受け、日本グッドデザイン賞、木材活用コンクール優秀賞、日本建築家協会作品選集、日本建学会作品選集など多数。

建築作品

松田町立小学校（22）道の駅「金太郎のふる里」（21）シダーアリーナ（18）流星庵（11）塩原温泉「湯っ歩の里」（07）高尾森林ふれあいセンター（04）どんぐり子ども図書室（13）山安鎌倉店（12）道の駅「みかも」（07）塩原温泉「湯っ歩の里」（07）奥津温泉「花美人の里」（01）

など数多くの木造を手がけている。

著書「キズカイのケンチク」「Local Design Lab」「ローカルファストが日本を変える」「被災地とともに歩む」「復興まちづくりの知恵袋」

【第1回】

●唐澤晋平 氏

((一社)奏林舎 代表理事)



プロフィール：

愛知県幸田町出身。専門学校で環境を専攻し、2009年より宮城県のくりこま高原自然学校、NPO 法人日本の森バイオマスネットワークにて環境教育や森林資源の活用推進、東日本大震災の復興支援に関わる。

2014年に愛知県に戻り、岡崎市額田地域の中山間地に移住。岡崎市ホテル学校で環境教育の指導や額田木の駅プロジェクトの立ち上げ・運営に関わる。2018年に一般社団法人奏林舎を設立し、地域に根差した林業を通じた豊かな森づくりと持続可能な地域づくりに取り組んでいる。

第1回

●白井仁士 氏

((株)しらい)



愛知県岡崎市宮崎町出身。愛知県立岡崎西高校、帯広畜産大学卒業。豊田鉄工(株)入社後に「守りたいものがある」ことに気づき、(株)しらい入社。

幼少期より、目の前に流れる男川で遊び、自然が身近な環境で育つ。サラリーマンとして自然と遠い環境で働くことに違和感があり、自分が「故郷の自然と共に生きたい」、「故郷の自然を守りたい」ことに気づく。現在は製材業を通して、故郷の自然を守るべく、日々奮闘中。

第2回

●辻充孝 氏

(岐阜県立森林文化アカデミー 木造建築専攻 教授)



プロフィール：

岐阜県立 森林文化アカデミー 教授・一級建築士・バウビオローグ

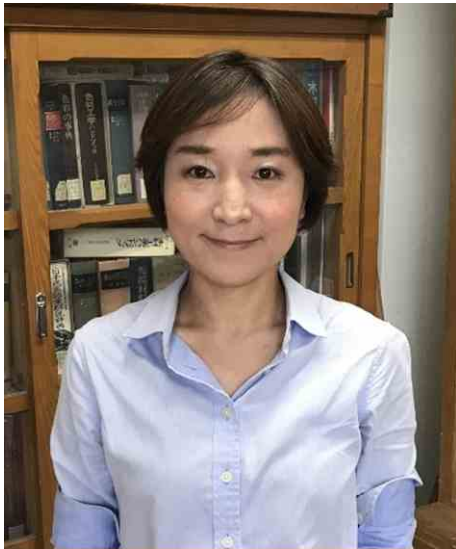
大阪芸術大学建築学科卒業後、Ms 建築設計事務所を経て、開学時から森林文化アカデミーで教鞭をとる。木造建築の設計、温熱環境、エネルギー性能評価の講座を受け持つ。2014 年～スマートウェルネス住宅等推進調査委員、2015 年自邸「カミノハウス」にて地域住宅賞奨励賞受賞、2016 年「自力建設プロジェクト」にてウッドデザイン賞受賞、2020 年「morinos」にて木材利用優良施設コンクール 林野庁長官賞、2023 年第 1 回 SDGs 建築賞 住宅・建築 SDGs 推進センター理事長賞を受賞。

著書に「ぜんぶ絵でわかる 7 エコハウス (エクスナレッジ)」

第3回、第5回

●山崎真理子 氏

(名古屋大学教授)



プロフィール：

名古屋大学大学院生命農学研究科 森林・環境資源科学専攻 木材工学研究室
教授 学位：博士（農学）、博士（工学）

専門は木材工学。木材のマテリアル利用に軸足を据え力学的耐久性を研究。

また、都市部での木材利用を推進するため、専門家・実務家・学生・市民・異業種が一体となった実践的木育活動など、山間地と都市部，市民と専門家を繋ぐ活動も行う。

（NPO 法人都市の木質化 PJ 理事，ウッドデザイン賞、愛知環境賞銀賞、全国植樹祭ほか）。

第3回

●稲山正弘 氏

(東京大学名誉教授、(株)ホルツストラー級建築士事務所 取締役、木質構造研究会会長、中大規模木造プレカット技術協会代表理事)



プロフィール：

1958 愛知県生まれ

1982 東京大学工学部建築学科卒業

1982～86 ミサワホーム勤務

1992 東京大学大学院博士課程修了、博士（工学）

1990 稲山建築設計事務所（現・ホルツストラ）設立

2005～2012 東京大学大学院農学生命科学研究科准教授

2012～2024 東京大学大学院農学生命科学研究科教授

2024～(株)ホルツストラ取締役、東京大学名誉教授

【著書】「中大規模木造建築物の構造設計の手引き」（単著）

「木造軸組工法住宅の許容応力度設計（2008年版）」（共著）など

【構造設計】いわむらかずお絵本の丘美術館、岐阜県立森林文化アカデミー、東京大学弥生講堂アネックス、北沢建築工場、オガールプラザ、住田町庁舎、戸越銀座駅、シネジック新社屋、飯能商工会議所、AQgroup 新社屋 など

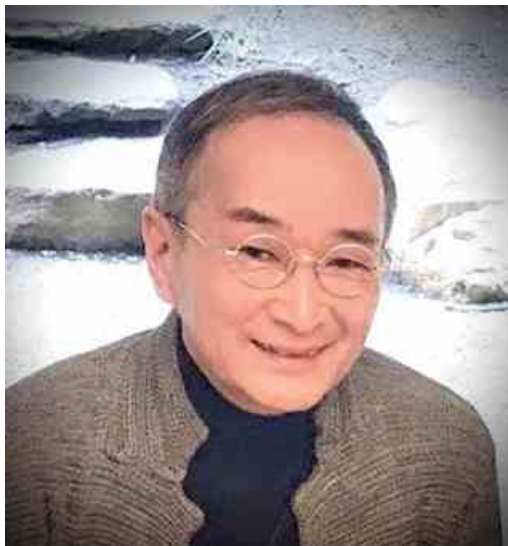
【受賞歴】2002 日本建築学会賞（技術）、松井源吾賞、2006 杉山英男賞
2009 JSCA 賞、2013 日本建築士連合会優秀賞、2014 日本建築仕上学会賞（作品賞・建築部門）

2016 BCS 賞、2019 日本建築学会教育賞（教育貢献）、2023 日本建築学会作品選奨など

第5回

●小原 淳 氏

(NPO 法人アースワーカーエナジー理事長、小原木材(株)代表取締役社長)



プロフィール：

3年間製造業にて商品企画・開発、販売促進を3年間担当

27歳にてコンセプトデザインを主体としたコンサルティング会社を起業

主なクライアントに NTT、KDD、日銀、高島屋、西武百貨店、清水建設、三菱銀行、三井不動産他、団体、個人

1991年 NPO アースワーカーエナジー設立「産業と環境の調和」の実現に向け活動

2001年 内閣府認証 特定非営利活動法人アース ワーカー エナジー 理事長就任

2002年 小原木材株式会社 代表取締役就任

2008年 愛知県岡崎市にて「天使の森プロジェクト」始動

2012年 公益財団法人服部公益財団 理事就任

2017年 愛知県西三河林材団体連合会 会長就任

2022年 三州木材協同組合 理事就任

2022年 株式会社もりまち 取締役就任

第5回

●八田欣也 氏

(岡崎製材(株)代表取締役)



学歴 1975 年 岡崎高校卒業
 1980 年 早稲田大学卒業

職歴 1980 年 東京の銘木店 千葉の建設会社 を経て
 1984 年 岡崎製材株式会社入社
 2000 年 岡崎製材株式会社
 代表取締役就任 現在に至る

資格 インテリアコーディネーター 宅地建物取引士

第5回

●長野麻子 氏

((株)モリアゲ 代表、元林野庁木材利用課長、岡崎市森林活性化アドバイザー)



(撮影：今村拓馬 BUSINESS INSIDER)

プロフィール：

愛知県安城市生まれ。岡崎高校、東京大学文学部フランス文学科卒。

1994 年に農林水産省に入省し、林野庁企画課、フランス留学、バイオマス・ニッポン総合戦略検討チーム、国際調整課、(株)電通出向、水産庁水産経営課、食品環境対策室長、大臣官房報道室長、新事業・食品産業政策課長などを歴任。

2018 年から3年間林野庁木材利用課長として、木材利用を促進するため「ウッド・チェンジ」を各地で叫び続ける。

豊かな森を次代につなぐことを勝手に天命と感じ、2022 年6月に早期退職。

同年8月に日本の森を盛り上げる株式会社モリアゲ (<https://mori-age.jp>) を設立。